

所 属 中部漁業協同組合
氏 名 あんどう としあき
安藤 俊昭 (53 歳)
船 名 第五あかり丸 1 トン
漁業種類 釣り (ヒラメ、キジハタ)、潜水 (イワガキ、アワビ、サザエ)、地びき網



～マル秘仕掛けでガッチリ！中部の釣り名人！～

中部漁業協同組合で組合長を務める安藤さんは、「立て釣り」と呼ばれる釣り漁をメインに、夏は潜水漁（イワガキ、アワビ等）や地曳網漁などを営んでいる。「釣りの仕掛けは企業秘密だけん、写真はいけんよ。」そう言いながらも、秘密の仕掛けを見せてくださるお茶目で優しいお人柄。

立て釣りとは、餌の付いていない釣り針をアジやイワシ等の群れの中に落として釣り、そのままヒラメやキジハタなどを釣る漁法である。漁法そのものはシンプルだが、仕掛け作りや操船に高度な技術が必要となる。「立て釣りは何でも釣れる」と安藤さんは言う。その言葉を証明するように、大型のヒラメを数十尾釣りあげたり、クエやマグロまで掛けたこともあるという。

そんな安藤さんの技術の高さは広く知られており、他漁協からも教を請う漁業者がいるそうだ。難しいからこそ面白い立て釣りに挑戦してみたい方は、安藤さんの門戸をたたいてみてはいかがだろうか。

～爆釣！のち・・・～

ある日ヒラメ釣りに出漁した安藤さんは、わずか1時間半で大型のヒラメ 36 尾を釣り上げるといふ驚異的な釣果を記録した。釣りを終え船槽を覗くと、まさかの光景が！ヒラメが酸欠でほとんど死んでいるではないか！結局、活魚出荷できたのはわずか 5 尾。釣りすぎにはご用心。

(文責：田中 靖)